

## G20インフラ開発における清廉性と透明性に関するグッドプラクティス集 (概要)

### 前文

インフラプロジェクトのガバナンス改善は、プロジェクトの遅れやコストと債務の上昇をもたらすガバナンス上の欠陥を解消し、インフラ投資の量と質を確保するための鍵となる。清廉性及び透明性は、効果的な腐敗対策及び質の高いインフラの提供にとって不可欠な要素である。インフラ開発は、規模の大きさ、複雑さ、投資額の大きさ、ステークホルダーの多さゆえに、腐敗や不正にとりわけ脆弱である。各国政府は、様々な部門や産業を適切に指導し、種々のアクターをつなげ、腐敗リスクに対処する必要がある。

### I. インフラプロジェクト全体の清廉性及び透明性を促進するためには総体的アプローチが必要

インフラセクターに、清廉性及び透明性に関する各種原則を適用するためには、伝統的かつ細分化されたアプローチではなく、様々なステークホルダーを巻き込み、プロジェクト全体を視野に入れた総体的なアプローチをとる必要がある。本グッドプラクティス集では、下記のようなインフラプロジェクトの各段階において、清廉性及び透明性を強化するための具体的な取組を特定する。

- I. I. ニーズ定義及びプロジェクト選定
- I. II. 実行可能性調査
- I. III. プロジェクト計画の策定
- I. IV. 入札
- I. V. 実施・契約管理
- I. VI. インフラプロジェクト全体における腐敗事案の探知と取締
- I. VII. プロジェクトの評価と監査

### II. インフラ開発における腐敗リスクを低減するための要因

強固かつ効果的な規制に加え、上記で特定された取組の効果的実施を確保するために、インフラ投資サイクル全体を通して下記のような措置を講じることが有効。

- ・ 公的職員及び事業者の専門性強化とキャパシティ・ビルディング
- ・ 公的部門内外におけるデータの標準化による監視及び説明責任の強化
- ・ インフラ開発における腐敗リスクを評価し、低減するための政府、民間部門及び市民社会による協働的アプローチ